

委員氏名	吉井 信行		岡澤 和枝		竹内 彩乃		稲葉 知恵子		大嶋 信太郎		折原 圭太		増子 直文	
総合コメント	概ね妥当に取り扱われている		公募委員をはじめ、いわゆる一般市民への情報公開や参加がほぼありません。プライバシーを尊重しつつも、現状や課題を市民が共有できる対応をご検討いただければと思います。		今後開催される新議会にてアンケート結果をしっかりと報告するなど、参加の手法を組み合わせた運営を行っていただきたい。市民参加はやればいいのではなく、丁寧に実施していくことが大事である。		現時点で実施済みの市民参加手法はアンケート調査に限られており、審議会は今後実施予定とされている。また、アンケート結果については個人情報が含まれることを理由に公表されておらず、審議会への結果報告も行われていないため、市民参加の成果がどのように計画に反映されるのかがやや見えにくい。		令和6年4月からの事業でありアンケート調査が令和6年7月に実施して8月に完了しているのなら、審議会はすでに実施すべきと考える。加えて審議会において実施するアンケート調査の内容を審議してより良いアンケート調査とすべきと考えます。特定の対象者へのアンケート調査でも行うことの周知と結果の報告は、市の事業として実施したのなら広く市民にすべきと考えます。		農業振興地域整備計画という事業のため、農業関係者のみの審議会開催であったり、アンケートの対象も農業従事者に限定されていることは妥当と考えます。しかし今後は、さらに広い角度からの意見を収集するという観点から、他の職業に従事する市民の参加を目指す取り組みにも期待します。		今後の意見を多く得るために若い世代の農業関係者からの意見をどのように得るかが課題と思う。	
手法ごとの評価	評価種類	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント
審議会の設置	基準		基準	会議公開有無の記載がありません。会議で扱われる個人情報に配慮しつつ、会議の公開や会議録の公表を行ってください。	基準	食料安定供給の視点を踏まえると、住民が参加しても良いテーマなのではないかと感じた。今回なぜ公募市民を入れなかったのかについてお伺いしたい。	基準	審議会は令和8年度以降に実施予定とされているため、現時点では実施状況を十分に評価することは難しい。 公募委員は置かれておらず、女性委員も確認されないため、多様な視点を取り入れるという観点からは課題がある。	基準	・実施予定が未定のためコメントは特にない	基準		基準	
	水準		水準		水準	市民の声も取り入れつつ、販売流通を含めた総合的な検討が求められる。	水準	農業関係者の実情を踏まえつつ、土地利用や地域資源の保全という観点から、農業関係者以外の市民にも分かりやすい形で審議経過や計画への反映状況を示すことが望まれる。	水準	・令和6年4月からの事業でありアンケート調査が令和6年8月に完了しているのなら、審議会はすでに実施すべきと考える	水準		水準	
アンケート調査の実施	基準		基準	プライバシーへの配慮や十分な調査期間を見込んだの実施は良かったと思います。	基準	アンケートの開始年について確認していただきたい。アンケートは、意見の集約が主な目的であるものの、それを達成するためには、計画について知ってもらうたり、意識を醸成したりすることも大事である。その点から、今回アンケートの周知がなされていないのは、問題であると考える。	基準	農家台帳に掲載されている農家から無作為抽出し、516件に発送、180件の回答を得ており、農業従事者の実態や意向を把握する方法として一定の合理性がある。 実施期間も47日間確保されており、回答期間としては十分である。また、返信用封筒を同封するなど、回答しやすくする工夫も見られる。	基準	・事前周知、結果の公表を広く市民に実施していない	基準		基準	
	水準		水準	返信用封筒に加え、回収率の向上のための工夫が必要であったと思います	水準		水準	回収率は34.9%であり、望ましい水準とされる30%を上回っている。アンケート結果が非公表であるため、市民参加の成果が外部から見えにくい。個人情報に配慮しつつ、集計結果の概要や計画への反映状況を示すことで、市民参加の実質性がより高まる。	水準	・特定の対象者へのアンケート調査でも行うことの周知と結果の報告は、市民にすべきと考える	水準		水準	

令和7年度市民参加実施事業 評価シートまとめ 事業番号24 白井市第10期高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定事業															
委員氏名	吉井 信行		岡澤 和枝		竹内 彩乃		箱築 知恵子		大嶋 信太郎		折原 圭太		増子 直文		
総合コメント	概ね妥当に取り扱われているが、アンケート結果の「公表の方法」（予定）については、より積極性がほしい。		複数の市民参加の手法で行われている。アンケートはさまざまな対象ごとに実施され、回収率の向上にも工夫が見られました。事業は実施途上ですが、現時点での担当課の自己評価があると良かったです。		丁寧な対応が行われている。グループインタビューの周知期間が短いのは気になったが、アンケート内容の検討が審議会で行われており、審議会のそれらがフィードバックされることで、自分ごととして検討が進められるのではないかと考えた。		白井市第10期高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定事業では、介護保険運営協議会、アンケート調査、介護事業者向けグループインタビューなど、複数の市民参加手法が組み合わされており、高齢者本人、介護事業者、医療・福祉・介護関係者、市民代表の意見を多面的に把握しようとする姿勢が高く評価できる。 特に、アンケート調査では、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査、在宅生活改善調査、居所変更実態調査、介護人材実態調査など複数の調査が実施されており、高齢者の生活実態、在宅介護、施設利用、介護人材の課題を幅広く把握しようとしている点が評価できる。また、介護事業者向けアンケートの結果を踏まえてグループインタビューを実施し、アンケート結果を深掘りしている点も有意義である。		公葬の事前周知や会議録の公表方法、アンケート調査の結果の公表は最低限基準を順守すべきであり、会議の開催を含めて積極的に公表すべきと考える。特定の対象者に対するインタビューでも市が行うものなら市民に対して広くこの行為の事前周知、結果の公表はされるべきと考える。		要介護者、ケアマネージャー、施設・居住系サービス事業者、介護事業所に対してアンケートを実施し、さらに意見の深掘りのためグループインタビューを実施するなど、市民の意見を幅広く、かつ深く取り入れようとしていることは、評価します。その分野の人でしか、経験した人でなければわからない実態把握が進むことを期待します。		多くのアンケートで高齢者の多い状況とそれに起因する介護に必要とされている人材確保、費用、業務改善と多くの課題が山積している。介護を受ける方、介護に携わる方双方の改善事項が明確なので早期の政策を検討願いたい。		
	手法ごとの評価	評価種類	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント
審議会の設置	基準		基準	会議録は分かりやすく作成、公表されていました。	基準	公葬の際、情報公開センターでの公開がなかったのが気になった。	基準	介護保険運営協議会は、医療・福祉・介護関係者および公募等で選出された市民により構成されており、計画内容について審議する体制が整えられている。委員15名のうち公募委員は5名で、公募委員割合は33%、女性割合は53%であり、多様な視点を取り入れる委員構成として評価できる。 会議は公開され、会議録や会議資料も公開されており、条例基準に照らしておおむね適切に実施されている。	基準	・公募委員募集の周知場所に情報開示コーナー、図書館が含まれていない	基準		基準		
	水準		水準		水準	公葬、専門家、その他のバランスがとれており素晴らしい。 アンケート調査の内容についても介護保険運営協議会で審議され、医療・福祉・介護関係者や市民代表の意見を反映したうえで実施されている。	水準	会議は令和7年度に2回開催され、出席率も93.3%、86.7%と高く、傍聴者も確認されている。計画策定に向けた継続的な審議の場として適切に運営されている。 アンケート調査の内容についても介護保険運営協議会で審議され、医療・福祉・介護関係者や市民代表の意見を反映したうえで実施されている。	水準	・公募委員募集の周知場所は最低限基準を順守すべきである ・公葬の周知や会議録の公表に積極性を感じない	水準		水準		
パブリックコメントの募集	基準		基準	実施に当たっては、十分な期間の設定を望みます。	基準		基準	調査上、パブリックコメントは令和9年1月から2月に実施予定とされているため、現時点では実施結果の評価はできない。	基準		基準		基準		
	水準		水準	概要版の作成を望みます。	水準		水準		水準		水準		水準		
アンケート調査の実施	基準		基準	アンケートごとに回収率向上の工夫が見られました。入居可能な介護施設や介護事業所対象の回収率がさらにアップする取り組みがあると良かったです。	基準	アンケートの内容について事前に審議会にかけている点が素晴らしい。そのことによるよかった効果があればお伺いしたい。	基準	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査、在宅生活改善調査、居所変更実態調査、介護人材実態調査など、複数の調査を実施しており、高齢者本人、ケアマネジャー、介護施設、介護事業者等の実態を多面的に把握している。 調査対象も、65歳以上の市民、市内ケアマネジャー、市内施設・居住系サービス事業者、市内介護事業所など、計画策定に必要な関係者を適切に設定している。	基準	結果の公表場所に情報開示コーナー、図書館が含まれていない	基準		基準		
	水準		水準	結果公表までの期間が短縮されることを望みます。	水準	回答率も高く、丁寧な広報や対応が行われた点が評価できる。	水準	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の回収率は76.6%、在宅生活改善調査は100%、居所変更実態調査は78.9%、介護人材実態調査は64.2%であり、いずれも高い回収率が得られている。複数の調査を組み合わせることで、介護予防、在宅生活、施設利用、介護人材という異なる課題を把握しており、計画策定の基礎資料として有効である。	水準	より多くの方法で事前周知をすることが望ましい ・結果の公表場所は最低限基準を順守すべきである ・結果の公表期間は一か月以内が望ましい	水準		水準		
その他の方法の実施	基準		基準	条例基準にはなじまない手法ですが、必要なインタビューであると思います。第3回目の参加者数が1名でした。グループインタビューなので複数名の参加が望ましいと思います。	基準	周知のための期間が短かったような気もする。	基準	介護事業者の経営状況等、配慮が必要な内容を含むため非公開とされている。非公開には合理性があるが、市民参加手法としての透明性を確保するため、個別事業者が特定されない形で、結果の概要や計画への反映状況を示すことが望まれる。	基準	市民に対して事前周知、結果の公表がされていない	基準		基準		
	水準		水準		水準	参加者が1名のときは単なるインタビューとして対応したのか。グループにした時との違いがあれば教えていただきたい。	水準	グループインタビューは3回実施され、在宅生活改善調査、介護人材実態調査等の結果を踏まえて、地域に不足する資源、ケアマネ業務の課題、市内訪問介護の実態などについて意見聴取が行われている。	水準	特定の対象者に対するインタビューでも市民に対してこの行為の事前周知、結果の公表はされるべきと考える	水準		水準		

令和7年度市民参加実施事業 評価シートまとめ 事業番号25 白井市第4次しろい健康プラン策定事業														
委員氏名	吉井 信行		岡澤 和枝		竹内 彩乃		稲葉 知恵子		大嶋 優太郎		折原 圭太		増子 直文	
総合コメント	概ね妥当に取り扱われている。		多くの市民参加の手法がとられています。ワークショップは講演会とセットで実施され、市民がより興味を感じるプログラムになっていると思います。事前周知もポスターやチラシでのPRや具体的な組織や事業者等に働きかけるなどさまざまな方法をとられていることは良かったと思います。36名の参加者の年齢構成はどうだったのでしょうか。アンケートでは、若い世代も対象としていましたが、ワークショップにおいて多様な世代による意見交換は必要なことであると思いました。		ネットワークを活用した周知広報がよかった。普段からのコミュニケーションやつながりづくりが、市民参加において重要であることが改めて確認できた。		白井市第4次しろい健康プラン策定事業では、健康づくり推進協議会、アンケート調査、ワークショップが実施されており、健康づくりに関する市民の意識や生活習慣を幅広く把握しようとする姿勢が評価できる。 特に、アンケート調査では、市内公立学校に通う小学5年生、市内在住の16歳および20歳以上の市民を対象としており、若い世代から高齢者まで幅広い世代の健康意識や生活習慣を把握しようとしている点は有意義である。また、健康づくり講演会とワークショップを組み合わせ、市民が健康づくりについて学びながら意見を出せる機会を設けている点も評価できる。		会議開催の周知場所に人の集まりそうな場所（各センター等）を加えるのが望ましい。また会議録の公表はより多くの手段を用いることが望ましい。アンケート調査の事前周知は、無作為抽出で選ばれたアンケート調査対象者のみでなく広く市民に周知すべきと考える。ワークショップの開催はまだ1回であるが、今後開催するのならば人の集まりやすい各センターを会場とするなど工夫をしていただきたい。		様々な市民参加の手法を用い、丁寧に意見収集されています。		事業24にあるように健康的老後を送るには日々の食育、運動なのは明確。多くの市民が興味のあること。しかし、一番難しい課題です。子どもの頃から意識付けることが大切。多くの意見をアンケートで求め継続してください。	
手法ごとの評価	評価種類	コメント	評価点	コメント	評価点	コメント	評価点	コメント	評価点	コメント	評価点	コメント	評価点	コメント
審議会 の 設置	基準		基準	資料は分かりやすく作成、公表されていました。	基準	概ね実施できている。アンケートの内容も検討されており、十分な準備期間を経て審議会以外の市民の声を反映できるようにしている。	基準	白井市健康づくり推進協議会は、医師などの専門家、関係団体の代表者、市民公募委員等で構成されており、専門的視点と市民視点の双方を取り入れる体制が整えられている。	基準		基準		基準	
	水準		水準		水準	概ね実施できている。	水準	会議の運営にあたり、委員へ事前に資料を配布することで、意見聴取をしやすい体制を整えている点は評価できる。	水準	会議開催の周知場所に人の集まりそうな場所（各センター等）を加えるのが望ましい ・会議録の公表はより多くの手段を用いることが望ましい	水準		水準	
パブリックコメント の 募集	基準		基準		基準		基準	調書上、パブリックコメントは令和8年12月に実施予定とされているため、現時点では実施結果の評価はできない。	基準		基準		基準	
	水準		水準		水準		水準		水準		水準		水準	
アンケート調査 の 実施	基準		基準	対象者ごとの発送、回収数（回収率）の記載があったほうが良い。また、前回調査よりわずかですが回収率が低下していますが、その理由等の分析が必要かと思います。	基準	小学生がほぼ100%とする と、16歳以上の回答率が低かったのか。	基準	アンケート調査では、市内公立学校に通う小学5年生、市内在住の16歳および20歳以上の市民を対象としており、健康づくりに関する幅広い世代の意識や生活習慣を把握する調査設計となっている。 実施期間は22日間であり、郵送とWEB回答を併用している。また、教頭会での説明や担任教諭からの声掛けなど、対象者に応じた回答促進の工夫が見られる。	基準	広く市民に事前周知されていない	基準		基準	
	水準		水準		水準	今回のアンケート結果を審議会 で共有し、議論に生かしていただきたい。	水準	発送3,267件に対し、回収1,656件、回収率50.6%であり、望ましい水準とされる30%を上回っている。	水準	アンケート調査の事前周知は、広く市民に周知すべきと考える	水準		水準	
ワークショップ の 開催	基準		基準	周知方法はポスターやチラシでのPRをはじめ、さまざまな方法で取り組まれていて積極性を感じられました。	基準	一方向でのコミュニケーションではなく、双方向となるため、参加のハードルは高くなるものの、比較的多くの市民が参加しており評価できた。講演会との組み合わせや、丁寧な周知がよかったと考えられた。	基準	健康づくり講演会とワークショップを組み合わせ、市民が健康づくりについて知識を深めながら意見を出せる機会を設けている。	基準	ワークショップの開催は、今のところ1回 ・事前周知で検討結果の公表時期が周知されていない	基準		基準	
	水準		水準		水準		水準	ワークショップで出された意見が第4次しろい健康プランの基本方針や具体的施策にどのように反映されたのかを分かりやすく示すことで、市民参加の成果がより明確になると考えられる。	水準	参加しやすい各センターでの開催も考慮すべきと考える	水準		水準	

令和7年度市民参加実施事業 評価シートまとめ 事業番号27 白井市景観とみどりの基本計画策定及び（仮称）景観とみどり条例制定事業														
委員氏名	吉井 信行		岡澤 和枝		竹内 彩乃		稲葉 知恵子		大嶋 信太郎		折原 圭太		増子 直文	
総合コメント	概ね妥当に取り扱われている。		さまざまな市民参加の手法がとられています。昨年度の中間評価以降、パブリックコメントと説明会が新たに実施されていました。パブリックコメントは、概要版があり提出方法や事前周知の方法に工夫が見られました。説明会では市民から多くの意見がでていましたが参加者数の少ない回があり事前周知の方法や、ワークショップのように市民が参加しやすい開催場所や開催時間についての検討が必要かと思いました。		審議会に市民が参加していないが、それ以外の手法をうまく組み合わせており、総合的には良い市民参加を行っていると考えられた。		白井市景観とみどりの基本計画策定及び（仮称）景観とみどりの条例制定事業では、審議会、パブリックコメント、アンケート調査、地域別ワークショップ、キックオフシンポジウム、説明会など、多様な市民参加手法が実施されており、景観やみどりに関する市民・事業者の意見を多面的に把握しようとする姿勢は高く評価できる。 一方で、審議会は専門部会としての性格が強く、公募委員が置かれていない。また、パブリックコメントについては調査上、意見提出が0件とされており、説明会についても参加者が多いとはいえなかったとの自己評価がある。今後は、各手法で得られた意見が計画や条例骨子案にどのように反映されたのかを分かりやすく示すとともに、説明会やパブリックコメントへの参加を促す周知方法の工夫が望まれる。		傍聴者の参加しやすい時間帯に開催されているとは思えない。事前周知、結果の公表は最低限基準を順守するのではなく積極的に広く市民に伝えるべきと考える。結果の公表時期は、一か月以内が望ましいと考える。シンポジウムや説明会は、より市民が参加しやすい各センターを加えることが望ましいと考える。パブコメは0であったようだが、その事実を広く市民に公表していただきたい。また、もう一度パブコメの募集を試みてはと思う。		景観とみどりの基本計画は、白井市の魅力向上のために重要な事業と考えます。アンケート、ワークショップ、シンポジウム、説明会などの様々な手法を組み合わせることで市民の意見を幅広く収集されていることを評価します。		環境課の事業17の細分化事業。その中で景観と緑地、減少する在来植物、増加する外来植物と検討することは多いと思う。各地域のまち協、事業者からの多くの意見を集約して欲しい。	
手法ごとの評価	評価種類	コメント	評価点	コメント	評価点	コメント	評価点	コメント	評価点	コメント	評価点	コメント	評価点	コメント
審議会の設置	基準		基準	専門的な委員会との記載がありますが、市民委員の参加についてご検討いただければと思います。	基準	専門的ではあるが、やはり市民に身近なことなので、公募市民が入っていてもよかったのではないかと考えられた。他の市民参加が多く行われているので、それらの意見を計画に反映する上でも、市民的関与があった方が良いのかと思った。	基準	白井市都市計画審議会景観とみどりの部会において、景観とみどりの基本計画の策定・推進等について、専門的知見から継続的に審議が行われている。会議は公開され、会議録や会議資料も公開されており、手続きとしてはおおむね適切に実施されている。一方で、部会は専門分野に特化した議論を行うための位置づけとされており、公募委員は置かれていない。	基準		基準		基準	
	水準		水準		水準	市民が参加していないなら尚更、タイムリーな議事録公開が望まれる。ワークショップやシンポジウムに関して、検討が行われているのは評価できる。	水準	部会は複数回開催され、アンケート結果、ワークショップ結果、基本理念・基本方針、計画素案、条例骨子案などが段階的に審議されており、計画策定の進捗に応じた継続的な審議体制が確保されている。	水準	傍聴者の参加しやすい時間帯に開催されているとは思えない・会議の事前周知、結果の公表は最低限基準を順守するのではなく積極的に広く市民に伝えるべき・会議録の公表は、一か月以内が望ましい	水準		水準	
パブリックコメントの実施	基準		基準	周知方法や提出方法に工夫が見られました。	基準	閲覧数が比較的多く評価できた。	基準	意見募集期間は33日間確保されており、条例基準で求められる2週間以上を十分に満たしている。提出方法も郵便、ファクシミリ、電子メール、各センター、担当課窓口、情報公開コーナー、図書館、ちば電子申請サービスなど複数用意されており、条例基準に照らして適切に実施されている。	基準	事前周知で検討結果の公表時期が周知されていない	基準		基準	
	水準		水準	概要版を作成されていたことは良かったと思います。	水準	LINEも用いて周知できているのでよかった。	水準	ホームページへのアクセス数は325件あり、一定の閲覧は確認できる。一方で、調査上、意見提出は0件とされており、パブリックコメントが市民意見を把握する手法として十分に機能したとは言いにくい。	水準	コメントは0であったようだが、0であったことの公表を市民にお願いしたい	水準		水準	
アンケート調査の実施	基準		基準	事前周知は広報しろいのみと限定的であり、より多くの方法で実施されると良かったです。	基準	回収率が若干低いと思われる。事業所への呼びかけなどももう少しなかったのだろうか、周知広報が少ないので、その点を改善すべきだったのではないか。	基準	18歳以上の市民2,000人および事業所600か所を対象に、無作為抽出でアンケート調査を実施しており、景観とみどりに関する市民・事業所の意見を幅広く把握する方法として適切である。郵送とWEB回答を併用しており、結果も公表され、審議会にも資料配布・説明により報告されている。	基準	事前周知場所にホームページ、情報開示コーナー、図書館が含まれていない	基準		基準	
	水準		水準	回答方法は郵便とWeb調査があり、督促はがきの送付など回収率UPに向けた工夫が見られました。	水準		水準	回収数は1,029件、回収率は約39.6%であり、望ましい水準とされる30%を上回っている。	水準	事前周知場所は最低限基準を順守すべきである・結果の公表はより多くの市民に公表すべきである・結果の公表は一か月以内が望ましい	水準		水準	
ワークショップの開催	基準		基準	庁舎や各センターで5回開催され市民の意見を聴取されたことは良かったです。	基準	周知広報がしっかりなされており、参加者も多く評価できた。	基準	地域別ワークショップは、市民のお気に入りの風景やみどりを話し合い、各地域で大切にしたいものを発見・整理することを目的として実施されており、景観とみどりの計画に適した手法である。	基準	事前周知場所に情報開示コーナーが含まれていない・事前周知で検討結果の公表時期が周知されていない	基準		基準	
	水準		水準	事前周知をポスターやチラシに加えデジタルサイネージの活用で、視覚的に情報を提供する取り組みは良かったです。	水準	新しい周知方法が選択されていたよかった。	水準	ワークショップで整理された地域ごとの意見が、計画の地域特性や景観形成方針にどのように反映されたのかを明確に示すことが望まれる。	水準	事前周知場所は、最低限基準を順守すべきである・結果の公表時期は一か月以内が望ましい	水準		水準	
その他方法	基準		基準	説明会の事前周知は条例基準を満たしていますが、シンポジウム周知におけるSNS活用などの工夫を説明会においても活用されれば、参加人数の増につながる可能性があったのではないかと思います。	基準	市民への情報公開の手続きを対面で行われている点は評価できる、一方で参加人数が少なかったりもするので、オンラインでの開催などを考えてみても良いのではないかと考えた。	基準	キックオフシンポジウムでは、学識者による講演、市民活動団体による市内の取組紹介、市外の取組事例紹介、パネルディスカッションが行われており、景観・みどりに関する情報提供や認識共有の場として有効である。 説明会は2回開催され、記録や市の考え方も公表されている点は評価できる。	基準	景観とみどりの基本計画の策定に関する説明会での事前周知場所に図書館が含まれていない・結果の公表場所に情報開示コーナー、図書館が含まれていない	基準		基準	
	水準		水準		水準		水準	シンポジウムは公開で開催され、記録も公表されており、市民参加の入口として有意義である。 説明会の参加者は1回目2名、2回目8名にとどまっており、参加人数は限定的である。担当課の自己評価でも、参加人数は多いといえず、メール配信サービスの活用など、より徹底した周知が必要とされている。	水準	開催場所は各センターが望ましい・事前周知場所や結果の公表場所は、最低限基準を順守すべきである・結果の公表時期は一か月以内が望ましい	水準		水準	

令和7年度市民参加実施事業 評価シートまとめ 事業番号28 (仮称) 白井市文化センター大規模改修基本計画策定事業

委員氏名		吉井 信行	岡澤 和枝		竹内 彩乃		稲葉 知恵子		大嶋 信太郎		折原 圭太		増子 直文	
総合コメント		本事業の趣旨からみても複数の「市民参加の方法」を採用するべきではないだろうか。	文化センターの改修は市民にとっても関心の高い事業だと思います。アンケート調査で多くの市民の意見を聴取したことは評価できますが、他の市民参加の手法もご検討いただきたかったと思います。		アンケートの数からして、市民の関心が高いことは間違い無いと思う。このため。アンケートだけではない、双方向の市民参加を行った方が良いのでは無いかと考えられた。		白井市文化センター大規模改修基本計画策定事業では、アンケート調査を通じて市民参加が実施されている。文化センターの利用状況や、今後の文化センターのあり方に関する市民ニーズを把握するため、基本計画策定の初期段階でアンケートを実施した点は評価できる。 一方で、文化センターは市民の公共の用に供される大規模施設であり、改修内容は市民の利用環境に大きく関わるため、アンケート調査のみで十分であったかについては確認したい。		結果の公表場所は最低限基準を順守すべきである。アンケート調査の回収率の報告がないが、829件の回収件数は良い結果と考える。		文化センター大規模改修というテーマで、アンケートを実施されたことは評価します。さらに他の方法も検討して、幅広い市民の声を収集されることを期待します。		上記の事業は白井市市民だけでなく、施設利用したことのある団体、企業からも意見を求めて欲しい。また、他市他県の施設の利用方法などを確認し、後世に利用できる施設に改修計画を。	
手法ごとの評価	評価種類	コメント	評価点	コメント	評価点	コメント	評価点	コメント	評価点	コメント	評価点	コメント	評価点	コメント
アンケート調査の実施	基準		基準	アンケート調査実施後、短期日でまとめ公表されたことは評価できますが、公表方法がHPのみであったことは残念です。	基準	多くの意見が回収できている。	基準	アンケートは21日間実施され、市内各センターへの設置およびインターネットにより回答を受け付けている。広報しろい、ホームページ、各センター、図書館、担当課窓口、LINEなど複数の周知方法が用いられており、手続さとして適切に実施されている。	基準	結果の公表場所に情報開示コーナー、図書館が含まれていない	基準		基準	
	水準		水準		水準		水準	回答件数は829件であり、そのうちネット回答727件、紙回答102件と、多くの市民意見を把握できている点は高く評価できる。自由記述式の回答には、市民の具体的な利用経験や要望が含まれていると考えられるため、今後の基本計画策定において、これらの意見がどのように整理・活用されたのかを示すことが期待される。	水準	結果の公表場所は最低限基準を順守すべきである ・回収率が示されていないが、829件の回収は良い結果と考える	水準		水準	